科目ナンバリング	U-LAS29 20028 SJ48				
授業科目名<英訳>	日本語アカデミック・ライティングⅠ Japanese Academic Writing I			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 准教授　仁平　千香子
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月4	配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な基礎的な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文の文体や表現、資料の探し方、引用の基本、要約、文のタイプ、図表の作り方などの講義と、日本語での意見文作成の実践を通して、まとまった量の論理的な日本語を書けるようになることを目指す。

[到達目標]

・自分で資料を集めて、その論旨を上手にまとめられるようになる。
・論文で使う日本語表現を学んで、使えるようになる。
・議論の展開の仕方を学んで、短い意見文が書けるようになる。

[授業計画と内容]

日本語で論文を書く上で必要な基礎的知識（資料の探し方、論文の要約方法、参考文献の書き方など）を学ぶ。また、論文で使う文体、日本語表現などを実例や実践を通しながら学び、最終的にいくつかのテーマに基づいた意見文を完成させる。

第1回　オリエンテーション/論文とは
　論文がどのような性質をもっているのかを学ぶ。
第2回　論文の文体と表現①
　学術的文章の特徴を知る。
第3回　論文の文体と表現②
　学術的文章の特徴を実践を通しながら学ぶ。
第4回　資料の探し方・集め方
　資料の種類と性質、集め方を知る。
第5回　引用とは/引用の仕方と参考文献の書き方
　引用の基礎、引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。
第6回　要約の基礎/論文要約①
　要約の基本を学び、短い日本語の意見文を要約する。
第7回　論文要約②/論文の種をまく
　実際の小論文を要約してみる。論文に疑問をぶつける練習をする。
第8回　調査方法の基礎/文のタイプ(事実・意見・行動を述べる文)
　調査をする際の注意点を学ぶ。事実と意見を分けることの重要性を知る。いかに日本語で事実・意見・行動を書き分けるかを学ぶ。
第9回　論文の基本構成①
　論文の書き始めに関する基礎知識を学ぶ。
第10回　論文の基本構成②
　論文での議論の展開方法を学ぶ。
第11回　論文の基本構成③
　論文の締め方を学ぶ。
第12回　図表・グラフ作成の基礎/図表・資料の表現

日本語アカデミック・ライティングⅠ(2)へ続く↓↓↓

日本語アカデミック・ライティングⅠ(2)

　図表・グラフ作成の基礎とそれらを提示するための表現を学ぶ。
第13回　意見文の推敲(日本語)
　他人の意見文と比較しながら自分の意見文の日本語を推敲する。
第14回　他人の意見文を評価する(内容)
　他者の意見文を評価しながら自身の意見文の内容を推敲する。
《期末レポート》
第15回　フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[成績評価の方法・観点]

授業への参加度(30%)、課題(30%)、意見文完成稿(40%)によって評価する。

[教科書]

使用しない
ハンドアウトを配付する。

[参考書等]

（参考書）
浜田麻里ほか『論文ワークブック』（くろしお出版, 1997）
小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』（くろしお出版, 2016）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業では、授業外で行う課題を用いての実践やグループワークを行うことがあるので、課題には計画的に取り組むこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]